

研修内容概要

指定による研修

講座番号	301	講座名	小学校道徳教育指導力向上	定員	各校 1名
期日・会場	東部管内： 9月27日（金）13：25～16：25 県教育センター 西部管内：10月 4日（金）13：25～16：25 県教育センター ※ この講座は、6月下旬頃に別途通知して参加者を募ります。			指標	Bb
対 象 者	・ 道徳教育推進教師又は校内で道徳教育を中心となって進める教員（公立小） ・ 特別支援学校小学部（準ずる教育）及び香川大学教育学部附属学校は希望者				

本研修は、「特別の教科 道徳」を推進していく上での課題についての認識を深め、各学校における道徳教育の推進を図ることが目的です。



〈主な内容〉

- ① 研修報告「道徳教育推進研修（中央研修）に参加して」
- ② 講話・演習「道徳科における校内研修の在り方」
- ③ 演習・協議「30分でできる授業づくり」



講座番号	302	講座名	中学校道德教育指導力向上	定員	各校 1名
期日・会場	10月18日（金）13：25～16：25 県教育センター ※ この講座は、6月下旬頃に別途通知して参加者を募ります。			指標	Bb Ca
対 象 者	・ 道德教育推進教師又は校内で道德教育を中心となって進める教員（公立中） （「令和5年度 中学校道德教育指導力向上」を受講した者を除く） ・ 県立中学校、特別支援学校中学部（準ずる教育）、香川大学教育学部附属学校 及び私立中学校は希望者				

本研修は、「特別の教科 道德」を推進していく上での課題についての認識を深め、各学校における道德教育の推進を図ることが目的です。

〈主な内容〉

① 研修報告「道德教育推進研修（中央研修）に参加して」

② 講話・演習「道德科における校内研修の在り方」

③ 研究協議「道德科における校内研修の現状と今後に向けて」





講座番号	303	講座名	高校・特別支援学校の ICT を活用した学習実践	定員	各校 1名
期日・会場	11月26日（火）13：25～16：25 県教育センター 11月27日（水）13：25～16：25 県教育センター 上記のうち1日 ※ この講座は、10月に別途通知して参加者を募ります。			指標	Bbイ
対象者	高校、特別支援学校の校内で ICT 活用研修を中心となって進める教員（「令和5年度 高校・特別支援学校のオンライン学習実践研修講座」を受講した者を除く）				
ICT 活用指導力	各校代表者が ICT を活用した学習実践についての知識を深めることで、各校の ICT 活用の推進を図る				

本研修は、ICT を活用した学習を推進する上での基礎知識や課題についての認識を深め、各学校における ICT を活用した学習実践の推進を図ることが目的です。

〈主な内容〉

- ① 講話・演習Ⅰ「オンライン学習をする際の課題について」
- ② 演習Ⅱ「生成 AI について」
- ③ 演習Ⅲ「授業における Microsoft 365 の活用について」

※ 演習ツールとして、『Microsoft 365』を使用します。



* Microsoft 365 は、Microsoft Corporation の登録商標です。



講座番号	304	講座名	学校給食危機管理及び食育推進	定員	300
期日・会場	8月22日(木) 9:25～12:25 香川県庁ホール ※ この講座は、6月に別途通知して参加者を募ります。			指標	Cc 栄Cc 管Ca
対象者	校(園)長・給食主任・食育担当教諭・栄養教諭・学校栄養職員(幼・こ・小・中・高・特)、市町教育委員会学校給食担当者、共同調理場所長、学校給食調理員等				

この講座では、学校における食に関する指導の推進と、その「生きた教材」となる学校給食の衛生管理及び危機管理等の視点から研修を行います。

今回は「学校給食における衛生管理について」をテーマに
香川県健康福祉部 生活衛生課 食品衛生担当者の方より、
ご講演をいただく予定です。





講座番号	305	講座名	香川県学校保健	定員	300
期日・会場	8月22日(木) 13:25～16:25 県庁ホール *この講座は、6月に別途通知して参加者を募ります。			指標	Ba 養 Bb
対象者	幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の 教員、及び学校保健関係者(学校医・学校歯科医・学校薬剤師等)				

近年、児童生徒を取巻く社会環境の大きな変化に伴い、対応すべき課題も、生活習慣病、喫煙・飲酒及び薬物乱用、性の問題行動、感染症、アレルギーの問題、いじめや不登校など、多岐にわたっています。

次代を担う児童生徒等の健康を守り、健康の大切さを伝えるために、学校、家庭、地域が連携を図り、課題解決に向け取り組むことが求められている現状を踏まえ、学校における健康教育の理解を深めたいと思います。





希望による研修

講座番号	306	講座名	小学校国語の授業づくり	定員	30
期日・会場	8月 2日(金) 9:25～16:25 県教育センター			指標	Bb Bb イ
対象者	小学校、中学校、特別支援学校小学部（準ずる教育）の教員 ※ この講座は、公開講演だけを聴講することもできます。公開講演のみに参加する方は、開催1週間前までに申込み（p34～35 参照）ください。				
ICT活用指導力	児童が効果的に ICT を活用できるような、国語の単元づくりや授業づくりをすることができる				

この研修では、基礎的・基本的な内容を押さえながら、国語科授業の具体化を演習形式で考えていきます。

前半は、全国学力・学習状況調査問題や香川県学習状況調査の問題とその結果を基に、香川の子供たちの状況の分析をします。

後半は、授業改善の視点を生かしながら、具体的な授業の進め方と評価の在り方について考えます。楽しく交流しながら授業改善の在り方を探りましょう。



水戸部先生から、国語科の授業デザインや子供の主体的な活動のアイデアを聞くことができます。

〈午後〉公開講演（13:25～16:20）

『『個別最適な学び』と『協働的な学び』の実現を目指す国語科の授業づくり
～ICT 活用をはじめとした指導のねらいを実現する多彩な手立ての開発～』

京都女子大学発達教育学部 教授 水戸部 修治 先生

講座番号	307	講座名	中学校国語の授業づくり	定員	20
期日・会場	7月 24日(水) 13:25～16:25 県教育センター			指標	Bb Bb イ
対象者	中学校、特別支援学校中学部（準ずる教育）の教員				
ICT活用指導力	生徒が効果的に ICT を活用できるような、国語の単元づくりや授業づくりをすることができる				



研修の前半では、全国学力・学習状況調査の問題や香川県学習状況調査の問題とその結果を基に、香川の子供たちの状況を分析します。

後半は、香川大学教育学部の浅井先生を講師にお迎えし、指導の改善点を踏まえた授業づくりについて、2学期に実践できる題材を基に、演習形式で考えていきます。



授業が変われば、生徒が変わる。

学習指導案を構想する上での素朴な疑問が解消できたり、教材研究のポイントがつかめたりする機会となります。

自己研修のヒントをつかむ第一歩をこの研修から始めましょう。

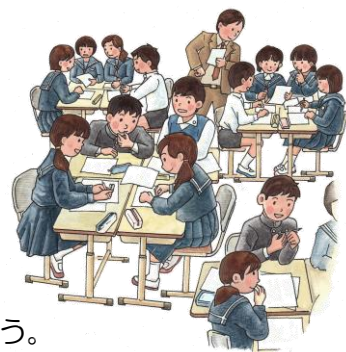
講座番号	308	講座名	高校国語の授業改善	定員	10
期日・会場	10月15日(火) 13:25～16:25 県教育センター			指標	Bbイ
対象者	高等学校、特別支援学校高等部(準ずる教育)の教員				

本研修では、高校国語における効果的なICT活用についての協議・演習を行います。

学習指導要領には、情報化社会の進展を見据え、国語科の学習においても「生徒がコンピューターや情報通信ネットワークを積極的に活用する機会を設けるなどして、指導の効果を高めるよう工夫すること。」と示されています。

育成を目指す資質・能力との関連を明確にした、効果的なICT活用について、グループ協議を通して考えていきましょう。





講座番号	309	講座名	小学校算数の授業づくり	定員	30
期日・会場	7月24日(水) 13:25～16:25 県教育センター			指標	Bb
対象者	小学校、特別支援学校小学部(準ずる教育)の教員				

本研修では、演習を通して、2学期に実践できる算数の授業改善について考えます。

前半は、香川大学教育学部の松島先生を講師にお迎えし、子どもが数学的な見方・考え方を働かせた授業について、講話・演習形式で研修を実施し、受講者の指導力の向上を目指します。



後半は、松島先生の講話や、全国学力・学習状況調査や香川県学習状況調査の分析結果から見た香川の子供たちの特徴を基に、数学的な見方・考え方を働かせた授業づくりについて、演習を交えながらみなさんと一緒に考えていきます。



講座番号	310	講座名	中学校数学の授業づくり	定員	30
期日・会場	8月19日(月) 9:25~12:25 県教育センター			指標	Bb
対象者	中学校、特別支援学校中学部(準ずる教育)の教員				

本研修では、これまでの全国学力・学習状況調査問題とその結果等を基に、生徒がどこでつまづいているのか、これまでの指導をどのように改善すればよいのか、などについて考えます。

前半は、全国学力・学習状況調査の問題と香川県学習状況調査の質問紙調査の結果を参考に、香川の子供たちの「つまづき」や、その支援について、グループで考えます。

後半は、前半での協議を基に、授業づくりについて、演習を交えて一緒に考えていく研修を行います。

講座番号	311	講座名	高校数学の授業改善	定員	10
期日・会場	10月15日(火) 13:25～16:25 県教育センター			指標	Bbイ
対象者	高等学校、特別支援学校高等部（準ずる教育）の教員				



本研修では、高校数学における効果的なICT活用についての協議・演習を行います。

「各教科等の指導におけるICTの効果的な活用について」（文部科学省 令和2年9月）には、「各教科等の特質や学習過程を踏まえて、教材・教具や学習ツールの一つとしてICTを積極的に活用し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善につなげることが重要である」と示されています。

「ICTを活用した授業改善に取り組んでみたいと思っているが、きっかけがつかめない」といった方も歓迎です。協議・演習を通してICTの有効な活用法を考えていきましょう。

講座番号	312	講座名	小・中学校社会科の授業づくり	定員	20
期日・会場	7月29日(月) 9:25～12:25 県教育センター			指標	Bb
対象者	小学校、中学校、特別支援学校小学部・中学部(準ずる教育)の教員				

本研修では、香川大学教育学部の神野先生を講師にお迎えし、学習指導要領及び社会科教育の在り方の趣旨に沿った指導ができるように、講話・演習形式で研修を実施し、受講者の指導力の向上を目指します。

前半は、学習指導要領で求められている社会科教育の在り方についての講話を行います。「社会的な見方・考え方」や社会科における資質・能力の捉え方等といった、社会科における基本的な考え方に触れていきます。

後半は、教材開発と発問に焦点化し、児童生徒の思考力を働かせ方について、演習を通して考えていける研修を行います。

少しでも社会科の授業改善を行いたいと思っている方のご参加をお願いします。



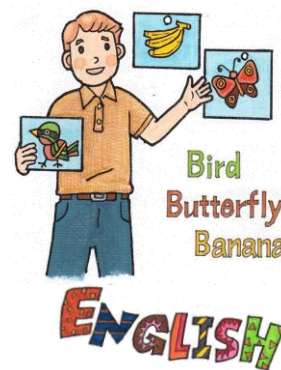
講座番号	313	講座名	外国語の授業づくり(小・中)	定員	25
期日・会場	7月26日(金) 9:25~12:25 県教育センター			指標	Bb
対象者	小学校、中学校、特別支援学校(準ずる教育)の教員				

本研修では、学びのつながりを意識した外国語活動・外国語科の授業づくりや、児童・生徒が主体となるコミュニケーション中心の授業づくりを目指します。

JICAの職員の方を講師に招いて、開発途上国で活動する青年海外協力隊の方からオンラインで話を聞いたり、現地の子どもたちと交流したりする授業を、受講者の先生方に体験していただく予定です。また、JICA研修員(開発途上国から日本にきている方)と交流するような体験もしていただく予定です。外部講師を取り入れた新しい授業づくりの可能性やアクティブな英語学習について考えていきます。

Bird
Butterfly
Banana

ENGLISH



講座番号	314	講座名	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善 －「個別最適な学び」と「協働的な学び」から考える－	定員	90
期日・会場	6月25日（火）13：25～16：25 県教育センター			指標	Bb
対象者	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員 ※ この講座は、5月に別途通知して参加者を募ります。 ※ この講座は、公開講演だけを聴講することもできます。公開講演のみに参加する方は、開催1週間前までに申込み（p34～35 参照）ください。				

学習指導要領で示された、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善について、基本的な理解を深め、具体的な改善方法や視点を得るための研修です。

□公開講演 「自己調整の学びとその支援」

香川大学 准教授 岡田 涼 先生

□演習 「個を生かす協働的な学び」

校種別に分かれ、授業づくりについての演習を通して、授業改善の具体的な手立てについて考えます。





講座番号	315	講座名	財政と税制を ICT を使って 対話的に学ぶ授業づくり	定員	20
期日・会場	8月 6日(火) 13:25~16:25 情報通信交流館(e-とびあ・かがわ)			指標	BbⅠ
対象者	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員				
ICT活用指導力	効率的な学習計画を立てたり、子どもの思考や理解を深めたりするために ICT を活用することができる。				

財政教育、金融教育、主権者教育…って言われていますが、実際に授業となると困っている先生は多いのではないのでしょうか。

この研修では、児童生徒に対して実際に授業をしている講師を高松税務署と四国財務局からお招きして、授業で活用している教材やICT機器を使ったツールを体験できます。また、財政や税制の視点から社会に参画する力の育成を目指す授業づくりについて協議することで、授業力の向上を目指します。

＜研修プログラム(予定)＞

【前半】…高松税務署と四国財務局の講師による講話・演習

- ・ICT機器を使った教材やツールを実際に体験

例) 財政教育プログラム・国税庁HP確定申告書等作成コーナーワークシート等を使用した租税教室

【後半】…グループ協議

- ・体験した教材やツールを使った授業づくりについて協議





財政教育プログラムの紹介



租税教育の紹介



財政教育プログラムの紹介



租税教育の紹介

講座番号	316	講座名	食育プログラム －東南アジアの伝統料理と 希少糖を使った調理を学ぼう－	定員	10
期日・会場	8月 6日（火） 9：25～12：25 香川大学教育学部 調理学実習室			指標	Bb
対象者	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校（準ずる教育）の教員				

【香川大学共同主催・JST「女子中高生の理系進路選択プログラム」合同事業】
本研修では、日本や東南アジアの伝統料理と希少糖を用いた調理実習を通じて、様々な調理方法を理解するとともに、食育活動に関する文化的認識を深め、家庭科における食育活動や総合的な探究の時間等における海外交流に関する取組を推進することを目指します。
＜研修プログラム(予定)＞
講話「ブルネイにおけるグローバル×サイエンス」
・ブルネイ・ダルサラーム国の紹介及び同国で理系を選ぶ意義や職業感について学びます。
演習「ブルネイ伝統料理とその文化的背景、希少糖概説、希少糖を用いた実験・実習」
・サゴデンプンを使ったブルネイの伝統食「アンブヤット」と、希少糖を使った「わらび餅」を作り、文化的背景や希少糖の働きについて体験的に学びます。

講座番号	317	講座名	ネットトラブルの現状と対応 ーネット依存の理解を深めるー	定員	20
期日・会場	8月 2日（金） 13：25～16：25 県教育センター			指標	Bc
対象者	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員				

保護者や子供から「ネットのことで・・・」と相談されると、「ネットのことはよく分からないのに・・・」と不安になる先生はいませんか？

子供がインターネット上で遭遇する様々なトラブルは、いじめや不登校等、学校生活の諸問題と密接に関わっています。このようなネットトラブルは、現実の人間関係や子供が抱える悩みに立ち戻り解決していくことが重要です。

この研修では、子供を取り巻くネット事情を学び、ネット依存についての心理的な理解を深めることを目指します。





講座番号	318	講座名	教育相談の校内体制づくり －不登校の子供へのチーム援助－	定員	30
期日・会場	7月24日（水） 9：25～12：25 県教育センター			指標	Bc 7
対象者	小学校、中学校の教員				

不登校の早期対応のための情報共有と組織的支援を効果的に行う支援体制づくりや、ケース会議の進め方について考えます。アンケートの作成例や、記録シートなど、日々忙しい業務の中でも簡単にチーム支援を始められるアイデアを紹介します。

- ・ それぞれの立場でできること
- ・ 情報を共有する手立て
- ・ アセスメント（見立て）の手法
- ・ ケース会議の進め方

また、不登校の状態が続く場合に、どんな支援ができるかを、段階別、対象別に考えます。子供や保護者の不安に寄り添う声かけなど、具体的なアプローチの仕方について、お互いに情報交換しながら、無理なくできる教育相談のヒントを見つけましょう。



講座番号	319	講座名	発達障害のある子供の 保護者との教育相談	定員	32
期日・会場	8月 2日（金） 9：25～12：25 県教育センター			指標	Ab 7
対象者	幼稚園・幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、高等学校、 特別支援学校の教員				

「あの一言さえ言わなかったら、あとの事態はずいぶんと変わっていたかも」ということはありますか？

保護者と教師がよりよい関係を築くことで、子供たちは安心して学校（園）生活を送ることができます。

特別支援教育における教育相談では、どのようなことを心にとめて保護者の話を聴いていけばよいのでしょうか。

校内での支援体制づくりや関係機関等との連携にも触れ、子供や保護者の困り感についてしっかりと耳を傾けながら、具体的な支援策を保護者と一緒に考えていく教育相談の技法について演習を行います。





講座番号	320	講座名	こんなに使える表計算ソフト (関数編)	定員	40
期日・会場	7月31日(水) 13:25～16:25 情報通信交流館(e-とぴあ・かがわ)			指標	AcⅠ
対象者	幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、高等学校、 特別支援学校の教員及び事務職員				
ICT活用指導力	表計算ソフトを活用して児童・生徒の学習状況・成績等を管理したり、集計し たりすることができる				

この講座は初心者の方も安心して受講できます。
データの入力、書式の設定、簡単な数式の入力等の Excel[※]の基本操作の
できる方で日頃データ入力だけ利用されている方、関数が苦手な方、これ
から関数を利用して資料を作成したい方、奮って参加してください。

表計算ソフト Excel の関数を基礎から学びたい方を対象に、主に成績処理を題材とし
て、基本的な関数の利用方法を習得し、活用することを目的とした講座です。
基本的な関数から論理・検索関数等、実務に役立つ関数を学びます。

* Excel は、Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

講座番号	321	講座名	プレゼンソフトを用いた 授業教材作成	定員	40
期日・会場	8月 6日（火）13：25～16：25 情報通信交流館（e-とびあ・かがわ）			指標	AcⅠ
対象者	幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、高等学校、 特別支援学校の教員				
ICT活用指導力	わかりやすく説明したり、生徒の思考や理解を深めたりするために、 PowerPoint を用いて資料等を効果的に提示することができる				
PowerPoint を用いて、分かりやすく効果的な資料作成の ポイントやプレゼンテーションの基礎を学びます。 また、スライドムービーを用いた教材作成および作成した ファイルをインターネット上へアップロードする方法を学びます。 ＊ PowerPoint は、Microsoft Corporation の商標または登録商標です。					

講座番号	322	講座名	はじめてさわるタブレット端末 (iPad 編)	定員	20
期日・会場	8月 2日(金) 13:25～16:25 情報通信交流館(e-とびあ・かがわ)			指標	AcⅠ
対象者	幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、高等学校、 特別支援学校の教員及び事務職員				
ICT活用指導力	学習に対する児童・生徒の興味・関心を高めるために、タブレット端末を活用 することができる				

この講座は初心者の方も安心して受講できます。
タブレット端末に興味はあるが、さわったことがない方、使ってみたい
けどきっかけがつかめない方・・・
まずはこの講座で体験してみましょう。

タブレット端末(iPad)の基本的な機能や操作方法について学び、
実際に操作体験をします。



* iPad は、Apple inc.の登録商標です。

講座番号	323	講座名	Microsoft365 活用【7月開催】 －教師の基本的なスキルと活用例－	定員	30
期日・会場	7月22日（月） 9：25～16：25 県教育センター ※ 講座番号 324 と同じ内容になります。			指標	BbⅠ
対象者	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員、事務職員 ※ 中堅教諭等資質向上研修Ⅱ（高・特）を受講する高等学校所属の教諭は、第6回研修の内容と本研修の内容が一部重なるため、第2回選択型研修として本研修を選択しないことが望ましい。				
ICT活用指導力	Microsoft365 で用意される Teams 等のアプリ群を授業で活用できる				

Microsoft365 で用意される Teams 等のアプリ群を授業等で活用できるように、演習を通して学び、タブレット端末活用のスキルアップを目指します。

《主な内容》

- Teams について
- Forms
- Whiteboard
- Word、Excel、PowerPoint を用いた共同編集

* Microsoft365, Teams, Word, Excel, PowerPoint は、Microsoft Corporation の商標または登録商標です。



事前アンケート
申込み後、開催日の
10 日前までに回答く
ださい。

講座番号	324	講座名	Microsoft365 活用【8月開催】 —教師の基本的なスキルと活用例—	定員	30
期日・会場	8月 6日(火) 9:25～16:25 県教育センター ※ 講座番号 323 と同じ内容になります。			指標	BbⅠ
対象者	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員、事務職員 ※ 中堅教諭等資質向上研修Ⅱ（高・特）を受講する高等学校所属の教諭は、第6回研修の内容と本研修の内容が一部重なるため、第2回選択型研修として本研修を選択しないことが望ましい。				
ICT活用指導力	Microsoft365 で用意される Teams 等のアプリ群を授業で活用できる				

Microsoft365 で用意される Teams 等のアプリ群を授業等で活用できるように、演習を通して学び、タブレット端末活用のスキルアップを目指します。

《主な内容》

- ・ Teams について
- ・ Forms
- ・ Whiteboard
- ・ Word、Excel、PowerPoint を用いた共同編集

* Microsoft365, Teams, Word, Excel, PowerPoint は、Microsoft Corporation の商標または登録商標です。



事前アンケート
申込み後、開催日の
10 日前までに回答く
ださい。



事前アンケート
申込み後、開催日の
10 日前までに回答く
ださい。

講座番号	325	講座名	はじめてのロイロノート (MetaMoJi)	定員	40
期日・会場	7月29日(月) 9:25～12:25 県教育センター			指標	Bb
対象者	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員、事務職員				
ICT活用指導力	協働学習を活性化し児童生徒の思考や理解を深めたり、表現を豊かにしたりするために、ICT 端末と学習支援ツールを効果的に活用して指導することができる				

学習支援ツール（ロイロノート・MetaMoJi）の基本操作や活用した協働学習の指導方法について演習を通して学び、ICT 活用指導力のスキルアップを目指します。演習は、ロイロノート・スクールと MetaMoJi ClassRoom に分かれて行います。

《主な内容》

講話 「タブレット端末の利活用」

講話・演習「基本操作～協働学習の進め方」

- 教材の作成と配付
- 協働制作
- 意見整理



事前アンケート
申込み後、開催日の
10 日前までに回答く
ださい。

* ロイロノート・スクールはLoiLo(株)の登録商標です。
MetaMoJi ClassRoom は MetaMoJi(株)の登録商標です。



事前アンケート
申込み後、開催日の
10 日前までに回答く
ださい。

講座番号	326	講座名	ロイロノート(MetaMoJi)で 授業づくり		定員	40
期日・会場	7月29日(月) 13:25～16:25 県教育センター				指標	Bbイ
対象者	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員、事務職員					
ICT活用指導力	協働学習を活性化し児童生徒の思考や理解を深めたり、表現を豊かにしたりするために、タブレット端末と学習支援ツールを効果的に活用して指導することができる					

学習支援ツール（ロイロノート・MetaMoJi）を効果的に活用した協働学習の指導方法について演習を通して学んだり、実践交流したりして ICT 活用指導力のスキルアップを目指します。演習は、ロイロノート・スクールと MetaMoJi Classroom に分かれて行います。

《主な内容》

講話 「タブレット端末の利活用」

講話・演習「協働学習の効果的な進め方」

- 協働制作
- 意見整理
- 実践交流





事前アンケート
申込み後、開催日の
10 日前までに回答く
ださい。

* ロイロノート・スクールはLoiLo(株)の登録商標です。
MetaMoJi Classroom は MetaMoJi(株)の登録商標です。

講座番号	327	講座名	Google Classroom 活用 －教師の基本的なスキルと活用例－		定員	30
期日・会場	7月23日（火） 9：25～16：25 県教育センター				指標	Bbイ
対象者	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員、事務職員					
ICT活用指導力	Google Workspace で用意される Classroom 等のアプリ群を授業で活用できる					
Google Workspace で用意される Google Classroom 等のアプリ群を授業等で活用できるように、演習を通して学び、タブレット端末活用のスキルアップを目指します。 《主な内容》 ・Chromebookについて ・Google Classroomについて ・Forms ・Figma（予定） ・ドキュメント、スプレッドシート、スライドを用いた共同編集 * Google Workspace, Chromebook, Google Classroom は、Google LLC の、Figma は FigmaJapan 社の 商標または登録商標です。						
					 事前アンケート 申込み後、開催日の 10 日前までに回答く ださい。	

講座番号	328	講座名	小・中学校のオンライン学習実践	定員	30
期日・会場	10月29日(火) 13:25～16:25 県教育センター			指標	BbⅠ
対象者	小学校、中学校の教員、事務職員				
ICT活用指導力	オンライン会議システムの機能を活かしながら授業や会議をすることができる				

オンライン学習の実践に係る Web 会議システム等の操作技能の習得と授業での活用能力の向上を図る研修です。

〈主な内容〉

- ① 講話 「教育の情報化に向けて」
- ② 演習Ⅰ「Web 会議システムの活用について」
- ③ 演習Ⅱ「オンライン上でのグループ協議」
- ④ 演習Ⅲ「授業等での具体的な活用について」

※ 演習ツールとしての Web 会議システムは、『Microsoft Teams』を使用します。

* Microsoft Teams は、Microsoft Corporation の商標または登録商標です。



講座番号	329	講座名	特別支援教育における タブレット端末活用(iPad 編)	定員	32
期日・会場	7月22日(月) 9:25～12:25 県教育センター			指標	Acアイ
対象者	幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、高等学校、 特別支援学校の教員、事務職員				
ICT活用指導力	わかりやすく説明したり、生徒の思考や理解を深めたりするために、タブレット端末を活用することができる				
主に、特別支援学級担当もしくは特別支援教育に携わっている方を対象としてタブレット端末を活用するヒントについて学ぶことのできる研修です。 基本的な考え方や便利なアプリなどについて実際に体験しながら学ぶことができます。 ・「特別支援教育でのタブレット端末活用の現状と課題」(講話) ・「タブレット端末入門」(講話・演習) 「タブレット端末アプリ体験」 「タブレット端末を使った授業体験」					



* iPad は、Apple inc.の登録商標です。



講座番号	330	講座名	特別支援教育における タブレット端末活用(Windows 編)	定員	午前 午後 各 15
期日・会場	8月 6日(火) 9:25～12:25 情報通信交流館(e-とびあ・かがわ)			指標	Ac アイ
対象者	幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、高等学校、 特別支援学校の教員、事務職員				
ICT活用指導力	わかりやすく説明したり、生徒の思考や理解を深めたりするために、タブレット端末を活用することができる				

主に、特別支援学級担当もしくは特別支援教育に携わっている方を対象としてタブレット端末を活用するヒントについて学ぶことのできる研修です。
基本的な考え方や便利なアプリなどについて実際に体験しながら学ぶことができます。

- ・「特別支援教育でのタブレット端末活用の現状と課題」(講話)
- ・「タブレット端末入門」(講話・演習)
- 「タブレット端末アプリ体験」
- 「タブレット端末を使った授業体験」



* WindowsはMicrosoft Corporationの商標または登録商標です。

講座番号	331	講座名	さわってみよう ビジュアルプログラミング言語 (スクラッチ編)	定員	40
期日・会場	7月24日(水) 13:25～16:25 情報通信交流館(e-とびあ・かがわ)			指標	Acイ
対象者	幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、高等学校、 特別支援学校の教員及び事務職員				
ICT活用指導力	プログラミングの体験を通して、基本的なビジュアルプログラミング言語を扱うことができる				

この講座は初心者の方も安心して受講できます。
ビジュアルプログラミング言語に興味はあるが、さわったことがない方、
使ってみたいけどきっかけがつかめない方・・・
まずはこの講座で「スクラッチ」を体験してみましょう。



ビジュアルプログラミング言語(スクラッチ)の基本的な扱い方について学び、
実際にプログラミング体験をします。

※ ScratchはMITメディア・ラボのLifelong Kindergartenグループによって開発されました。
くわしくは<https://scratch.mit.edu>をご参照ください。

番 講 座 号	332	講座名	小学校プログラミング教育の 授業づくり(基礎編)		定員	25
期日・会場	7月26日(金) 9:25～12:25			県教育センター	指標	Ac イ Bb イ
対 象 者	小学校、特別支援学校の教員					
ICT 活用指導力	小学校プログラミング教育について理解し、プログラミング教育を通してプログラミング的思考の育成ができる					

小学校プログラミング教育のねらい等の基本事項を知り、プログラミング体験等を通して、プログラミング的思考の育成について学びます。

※本研修ではChromebookとiPadを使用しますが、紹介するプログラミング教材はWindowsPCでも利用できる教材です。《主な内容》

講話

演習

「小学校プログラミング教育について」
「プログラミング体験」

- ・アンブラグド プログラミング
- ・ビジュアル プログラミング
- ・フィジカル プログラミング



事前アンケート
申込み後、開催日の
10 日前までに回答く
ださい。

* iPadはApple inc.の登録商標です。ChromebookはGoogle LLCの登録商標です。
WindowsはMicrosoft Corporationの商標または登録商標です。



事前アンケート
申込み後、開催日の
10 日前までに回答く
ださい。

	333	講座名	小学校プログラミング教育の 授業づくり(教科編)	定員	25
期日・会場	7月26日(金) 13:25～16:25 県教育センター			指標	Ac イ Bb イ
対 象 者	小学校、特別支援学校の教員				
ICT 活用指導力	小学校の教科においてプログラミング教育を指導することができる				

小学校の教科におけるプログラミング教育の模擬授業や各種教材活用の演習等を通して、プログラミング教育の授業づくりについて学びます。

※本研修ではChromebookとiPadを使用しますが、紹介するプログラミング教材はWindowsPCでも利用できる教材です。

《主な内容》
講話 「教科におけるプログラミング教育」
演習 「プログラミング教材の活用」
・5年 算数 「円と正多角形」
・6年 理科 「電気と私たちの暮らし」

* iPadはApple inc.の登録商標です。ChromebookはGoogle LLCの登録商標です。
WindowsはMicrosoft Corporationの商標または登録商標です。



事前アンケート
申込み後、開催日の
10 日前までに回答く
ださい。



事前アンケート
申込み後、開催日の
10 日前までに回答く
ださい。

講座番号	334	講座名	中学校技術のプログラミング教育の授業づくり(教科編)	定員	20
期日・会場	8月 5日(月) 13:25～16:25 県教育センター			指標	Ac イ Bb イ
対象者	中学校、特別支援学校の教員				
ICT活用指導力	中学校の技術分野においてプログラミング教育を指導することができる				

中学校技術分野でのプログラミング教育のねらい等の基本事項や、小学校プログラミング教育及び、高等学校情報Ⅰのプログラミング教育とのつながりについて解説します。

演習では、「ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミング」「計測・制御のプログラミング」についてのプログラミング体験等を通して、目指す資質・能力の育成にむけた授業づくりについて研修します。

《主な内容》

講話 「教科におけるプログラミング教育について」

演習 ・双方向性のあるコンテンツのプログラミング
・計測・制御のプログラミング

※ 本研修ではChromebookを使用しますが、紹介するプログラミング教材はiPadやWindowsPCでも利用できる教材です。

* ChromebookはGoogle LLCの登録商標です。WindowsはMicrosoft Corporationの登録または登録商標です。



事前アンケート
申込み後、開催日の
10 日前までに回答く
ださい。



事前アンケート
申込み後、開催日の
10日前までに回答く
ださい。

講座番号	335	講座名	高等学校プログラミング教育の 授業づくり -Google Colaboratory で Python 編-	定員	30
期日・会場	7月 2日(火) 9:25～16:25 県教育センター			指標	Bbイ
対象者	中学校、高等学校、特別支援学校の教員				
ICT活用指導力	Pythonによるプログラミングの授業を Google Colaboratory でできる				

令和4年度から始まった高等学校情報Ⅰのプログラミング教育に向けて、Pythonによるプログラミングを Google Colaboratory で体験し、実際にプログラミングを行います。

プログラミングの技能だけによるのではなく、実際に授業で気を付けたポイントについて解説します。

※ 本研修ではChromebookを使用しますが、紹介するプログラミング教材はiPadやWindowsPCでも利用できる教材です。

* iPadはApple inc.の登録商標です。ChromebookはGoogle LLCの登録商標です。WindowsはMicrosoft Corporationの商標または登録商標です。



事前アンケート
申込み後、開催日の
10 日前までに回答く
ださい。



事前アンケート
申込み後、開催日の
10日前までに回答く
ださい。

講座番号	336	講座名	主体的な情報モラルの育成に向けて	定員	40
期日・会場	7月 5日（金）13：25～16：25 県教育センター			指標	Ac イ Bc イ
対象者	幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員				
ICT活用指導力	情報モラル教育について理解を深め、情報モラル教育を推進できる				

児童生徒が主体的にICTを活用して取り組む学習の充実のためには、主体的な情報モラルの育成は欠かせないものです。本研修では、情報モラル教育について、SNS等の特性や、デジタル・シティズンシップの考え方も合わせて説明します。

講話・演習形式で、実践につなげるための理解を深めます。

《主な内容》

講話 「主体的な情報モラルの育成に向けて」

演習

- ・個人情報を守るには
- ・他者の権利を守るには
- ・情報社会への参画につなげるには





講座番号	337	講座名	特別支援教育障害種別 －知的障害、発達障害、自閉症－	定員	40
期日・会場	6月14日（金） 9：25～16：10 香川丸亀支援学校 ※ この講座は、5月に別途通知して参加者を募ります。			指標	Ba ア Bb ア Bc ア
対象者	幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、特別支援学校の教員				

〈午前〉

会場校である香川丸亀支援学校の授業を見せていただき、指導方法や教材・教具について考えます。実際の授業に触れることで、発達の段階に応じた課題設定や支援の在り方を一緒に勉強しましょう。

〈午後〉

「知的障害」「発達障害」の2つのテーマの分科会に分かれて研修報告や実践発表を聞き、学びを深めます。

明日からの支援のヒントがきっと見つかります。



講座番号	338	講座名	特別支援教育障害種別 －肢体不自由、視覚障害、病弱、聴覚障害－	定員	40
期日・会場	6月28日（金） 9：25～16：10 高松支援学校 ※ この講座は、5月に別途通知して参加者を募ります。			指標	Baア Bbア Bcア
対象者	幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、特別支援学校の教員				



〈午前〉

会場校である高松支援学校の授業を見せていただき、授業研究を行います。

実践の授業に触れることで、症状や発達の段階に応じた具体的な指導方法や教材教具等について、学びを深めましょう。

〈午後〉

「肢体不自由・病弱」、「聴覚障害・視覚障害」のテーマで分科会に分かれ、長期研修報告や実践発表を基に障害特性に応じた指導・支援の工夫について学びます。

明日からの支援のヒントがきっと見つかります。

講座番号	339	講座名	管理職マネジメント	定員	30
期日・会場	11月 7日（木） 13：15～16：25 県教育センター			指標	管 Bbア 管 Bb
対象者	小学校、中学校の校長、副校長、教頭				

学校運営に関する高度で専門的な知識や技能を習得し、組織的に学校を運営する実践力を高めます。主な内容は以下の2点です。

① 公開講演「特別支援教育（発達障害）」
香川大学教育学部 教授 坂井聡先生を講師にお迎えします。
最近、増加している特別な支援が必要な児童生徒について、その対応をするにあたり管理職としてぜひ知っておく必要がある内容について学びます。

② 講話・研究協議「法に基づく生徒指導対応について」
「令和5年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」結果から県全体の傾向をつかみ、様々なケースについて、管理職として法に基づきどのように対応すべきかを協議します。スクールロイヤーと義務教育課課長補佐が、問題提起や助言を行います。



講座番号	340	講座名	子供の命を守る！ 「南海地震防災シミュレーション」	定員	30
期日・会場	8月22日（木） 9：25～16：10 県防災センター・県消防学校			指標	Cc 管 Ca
対象者	幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、高等学校、 特別支援学校の教員及び事務職員				

東日本大震災では、徹底した防災教育を行っていた釜石市において、出席児童生徒の全員が助かりました。能登半島地震の発生を受け防災意識がますます高まる中、30年以内に70～80%の確率で起こるとされる南海トラフを震源とする巨大地震が発生したときに備え、子供たちの命を守る方策を考えていきましょう。

内容

- ① 実習「災害体験」（地震体験・煙避難体験・地震体験・暴風体験 等）
- ② 講話「南海地震の被害想定を踏まえた備えについて」
- ③ 講話「緊急地震速報の活用について」
- ④ 実習「南海地震防災シミュレーション」

県防災センターや高松地方気象台の方々からアドバイスをいただきます。

講座番号	341	講座名	災害時の対応訓練	定員	20
期日・会場	8月20日（火） 9：25～16：25 香川大学林町キャンパス			指標	Cc 管 Ca
対象者	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員及び事務職員				

災害発生時に、状況を判断し、意志決定を行い、行動を起こすという一連の訓練を経て、災害時の実践力の習得を目指します。災害発生時に児童生徒の安全確保・避難誘導の初期対応を行うであろう担任等をされている先生方にも、災害時に学校運営を行う可能性のある管理職の先生方にも学びの多い内容となっています。

研修内容

- ① 災害対応についての講話
- ② バーチャルリアリティを用いて災害状況を再現した訓練システムを活用した演習
- ③ HUG(避難所運営ゲーム)
- ④ 研修の振り返りとまとめ

講座番号	342	講座名	防災士になろう	定員	20
期日・会場	8月 5日(月) 13:25～16:25 県教育センター			指標	Cc 管Ca
対象者	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員及び事務職員				
本講座を受講することで、「防災士(NPO 法人日本防災士機構)」の登録に必要な「<u>救急救命講習修了書</u>」の交付を受けることができます。 本研修を受講した者は、香川大学公開講座「防災士養成講座」に優先的に申し込むことができます。(※ 香川大学公開講座「防災士養成講座」最終日に実施する防災士資格取得試験に合格することで、「防災士資格」を取得できます。香川大学公開講座「防災士養成講座」には受講料・教本代が必要です。) 事前課題 : 応急手当 Web 講習(e-ラーニング)(消防庁) 研修内容 ・ 普通救命講習Ⅰ ・ 講話「防災士を目指して(仮)」					

講座番号	343	講座名	地元の自然から学ぶ！ さぬきの森フィールドワーク	定員	20
期日・会場	7月22日(月) 10:00～16:00 国営讃岐まんのう公園			指標	Ac
対象者	幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、高等学校、 特別支援学校の教員				

様々な教科や機会において環境教育の視点は重要であり、地元の自然を理解することがその基本となります。国営讃岐まんのう公園において、室内での講話・演習や野外フィールドワーク(「さぬきの森・自然生態園エリア」において、瀬戸内海地域に特徴的な里山を巡る体験活動)を通して、郷土の自然を新たな視点で見つめ直し、環境学習のポイントや伝え方を学びます。

● 講師：インタープリターボランティア 井上博夫氏
(環境省：環境カウンセラー、高松市公立学校特別非常勤講師)

● 内容

【午前】

・ 環境教育プログラム[室内]

・ 環境教育体験型アクティビティー[室内]

・ さぬきの森フィールドワーク(※)

※ 90分程度の野外フィールドワーク(主に木陰での活動)を予定しています。野外実習ができる服装(長袖・長ズボン・歩きやすい靴・帽子)で参加してください。





講座番号	344	講座名	香川の「ジオ教材」 フィールドワークプログラム	定員	20
期日・会場	12月25日(水) 9:00～16:25 県内のジオサイト ※ この講座は10月頃に別途通知して、受講者を募ります。			指標	Bb
対象者	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員 ※ 高松市立小・中学校の教員は受講対象者ではありません。 ※ 高松第一高等学校の教員は受講対象者です。				

香川県には、世界的に貴重なジオサイトや石の文化など、世界ジオパークの室戸や山陰海岸に負けないくらいの素材が豊富にあります。讃岐のジオサイトについて、香川大学創造工学部の長谷川修一教授に解説をしていただきます。地学分野の基礎知識や指導方法の向上を図るとともに、地元の自然を教材化していきましょう。

※ 参加する際は、基本的な地学用語等を理解しておいてください。

※ 定員を上回る申込があった場合、担当授業の専門性、過去の本研修講座への参加回数等により受講者を決定させていただきます。

講座番号	345	講座名	理科実習教諭のための教材開発	定員	20
期日・会場	7月24日（水）13：25～16：25 県教育センター			指標	Ac Bb
対象者	県立高等学校及び高松第一高等学校の理科実習教諭				

理科実習教諭として必要な専門知識に関する講話や、実験・観察を行う実習、各先生方からの情報を基にした理科実習教諭の業務に係る研究協議を行います。

実習内容は未定ですが、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた実習内容を予定しています。

各校に一人ずつしか配置されていない職種ですので、積極的に参加していただき、日頃の業務の成果や課題について、共有していきましょう。





教職大学院連携研修

講座番号	401	講座名	資質・能力を育む教科の授業づくり	定員	70
期日・会場	8月 2日（金） 9：00～12：00 各所属校等 ※ この講座はオンライン研修（同時双方向型）での開催になります。			指標	Bb
対象者	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員 ※ 私立学校及び香川高等専門学校の教員は受講対象者ではありません。				

「資質・能力を育む」とはどのようなことでしょうか。「教科学習を通じて資質・能力を育む」とはどのようなことを様々な実践事例を通じて共に考えていくことを目的とします。

「知識」とは異なり、「資質・能力」は人間が本来内に持っている能力だと言われます。

「資質・能力」を使う学習活動が、当の「資質・能力」を育むと言われます。こうした考え方を納得できると、授業を考える視野が広がります。

〈主な内容〉※小・中学校での実践を想定した研修です。

- ① 「資質・能力の形成と教科学習」（講話）
- ② 「資質・能力を使ってテキストを読み解く学習活動」（演習）
- ③ 「学習活動を駆使した授業の分析」（演習）

なお、本講座の受講者には、香川県教育センター所長による「受講証明書」が発行されます。

講座番号	402	講座名	道徳科の授業づくり	定員	50
期日・会場	7月31日（水） 9：25～12：25 県教育センター			指標	Bb Bbイ
対象者	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員 ※ 私立学校及び香川高等専門学校の教員は受講対象者ではありません。				
ICT活用指導力	道徳科の授業において、各場面における ICT の活用方法や効果を理解することができる。				

道徳科の授業づくりについて、内容項目の理解や教材の分析等、具体的な演習や講話を通して、大切にしたい視点や考え方を学びます。特に、授業づくりの多様な指導方法に関して、解説等で確認し実践事例より工夫や改善点を理解し、板書構想やICT活用についての演習（グループワーク）を通して大切にしたいポイントを確認することで授業を考える視野が広がります。

〈主な内容〉※小・中学校の教材を使用します。

- ・ 講話「特別の教科 道徳における多様な指導の在り方」
- ・ 講話・演習「道徳科におけるICT活用」

なお、本講座の受講者には、香川県教育センター所長による「受講証明書」が発行されます。

講座番号	403	講座名	教育効果を高めるための ICT 活用法	定員	午前 午後 各 30
期日・会場	8月 2日(金) 9:25~12:25 県教育センター 13:25~16:25 県教育センター 上記のうちいずれかの時間帯(受講時間帯は選択できません。)			指標	Bb イ
対象者	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員 ※ 私立学校及び香川高等専門学校の教員は受講対象者ではありません。				
ICT活用指導力	教育効果を上げるためには、どの学習場面にどのようにタブレット端末を活用すればよいか、計画することができる。				
学校現場において、近年、大型提示装置(電子黒板やプロジェクタとスクリーンなど)・実物投影装置・デジタルカメラ・デジタル教科書等の整備が急速に進められています。加えて、1人1台端末(タブレット・PC等)の実現や、家庭でも繋がる通信環境の整備など、「GIGA スクール構想」におけるハード・ソフト・人材を一体とした整備が進められています。 効果的な授業実践を実現するには、整備された ICT 機器/環境をどのように活用すればよいのでしょうか。主体的・対話的な演習と講話を通して、考えを深めたいと思います。 〈主な内容〉※小・中学校での実践を想定した研修が中心となります。 ○ 情報活用能力の育成並びに情報教育の在り方について(講話) ○ ICT 機器を活用した授業実践事例(講話) ○ ICT 機器に触れながら、ICT 活用授業を構想しよう(演習) ○ 演習の成果を共有しよう。→効果的な ICT 活用授業のポイントとは?(演習・講話) なお、本講座の受講者には、香川県教育センター所長による「受講証明書」が発行されます。					



講座番号	404	講座名	授業における特別支援教育	定員	50
期日・会場	7月24日(水) 13:25～16:25 県教育センター			指標	Ba7
対象者	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員 ※ 私立学校及び香川高等専門学校の教員は受講対象者ではありません。				

インクルーシブ教育システム構築の理念に基づき、すべての子どもたちに「わかる授業」を行うための集団全体への効果的な一斉指導の工夫（ユニバーサルデザイン）や、支援を要する子どもの学習参加を保障するための個に応じた支援の工夫（合理的配慮）について、講話と演習を通して考えます。

○ 前半(理論編)

「ユニバーサルデザインと合理的配慮」

校種別グループ演習

○ 後半(実践編) ※主に小・中学校での実践を想定

「授業のユニバーサルデザイン」

校種別グループ演習



なお、本講座の受講者には、香川県教育センター所長による「受講証明書」が発行されます。



講座番号	405	講座名	学校の危機管理研究Ⅰ - ①	定員	120
期日・会場	7月31日(水) 8:50～16:15 各所属校等 ※ この講座は、オンライン研修(同時双方向型)での開催になります。			指標	Cc
対象者	教職経験年数4年以上の小学校、中学校の教員 ※ 私立学校の教員は受講対象者ではありません。				

学校では、様々な危機的状況が発生しています。危機的な状況を未然に防ぎ、的確に対応することにより、子供たちが安心して学べる環境を確保することができます。

危機対応能力を身に付けることをめざし、学校で生じる危機に対応するために必要な校内体制づくりの視点や考え方について、講話と演習により学びます。

- 学校の危機管理と学校安全の考え方
- 学校の危機管理と生徒指導



本講座は単独受講が可能ですが、「406 学校の危機管理研究Ⅰ—②」と合わせて受講することで、学校における危機管理研究の全体的な考え方を学ぶことができます。

なお、本講座の受講者には、香川県教育センター所長による「受講証明書」が発行されます。

※ さらに研修を深めたい方は、香川大学教職大学院が実施する「学校の危機管理研究Ⅱ」の授業講座を受講することができます(受講料無料)。詳しくは、香川大学教職大学院の Web サイトをご覧ください。

講座番号	406	講座名	学校の危機管理研究Ⅰ - ②	定員	120
期日・会場	8月 1日(木) 8:50~16:15 各所属校等 ※ この講座は、オンライン研修(同時双方向型)での開催になります。			指標	Cc
対象者	教職経験年数4年以上の小学校、中学校の教員 ※ 私立学校の教員は受講対象者ではありません。				

学校では、様々な危機的状況が発生しています。危機的な状況を未然に防ぎ、的確に対応することにより、子供たちが安心して学べる環境を確保することができます。

危機対応能力を身に付けることをめざし、学校で生じる危機に対応するために必要な校内体制づくりの視点や考え方について、講話と演習により学びます。

- 学校の危機管理と教職員のメンタルヘルス
- 学校の危機管理と保護者・地域住民との協働
- 学校の危機管理と学校教育データの利活用



本講座は単独受講が可能です。が、「405 学校の危機管理研究Ⅰ—①」と合わせて受講することで、学校における危機管理研究の全体的な考え方を学ぶことができます。

なお、本講座の受講者には、香川県教育センター所長による「受講証明書」が発行されます。

※ さらに研修を深めたい方は、香川大学教職大学院が実施する「学校の危機管理研究Ⅱ」の授業講座を受講することができます(受講料無料)。詳しくは、香川大学教職大学院の Web サイトをご覧ください。

